

アセスメントのポイント

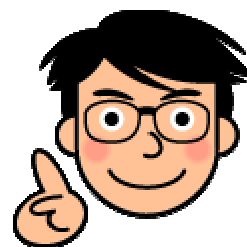
さまざまな児童生徒の課題に対応していくために、一人一人の情報（友人関係、家族関係、思いなど）を正確に把握する。その情報を基に心理的支援、学習支援、学校復帰支援などの側面から児童生徒の状態をとらえていくことが大切である。そのためにも適切なアセスメントが必要になってくる。

子どもによりそいながら、共感的な態度を心がけましょう！

- ・同じ時間、同じ空間を共有しながらお互いの緊張をほぐしましょう。
- ・いろいろな情報から多面的な理解を心がけ、個に応じた支援をしましょう



その子がそのような行動や態度をとっている背景は何かを考えてかかわることが大切です。



背景から理解

心理面 行動面（社会面） 学習進路面 身体・健康面

かかわりのポイント

- ・無理にかかわろうとせず、相手の言動を待つように心がけましょう。
（自分の枠組みに相手をはめ込まないことが大切です。）
（質問は、攻撃行動のひとつになることもあります。）
- ・相手の言動は受容的に受け止めながら、感嘆や賞賛の言葉を使いながら、承認していきましょう。
- ・自己表現をためらっている場面では、補助自我として気持ちを代弁しながら、集団への参加を支援していきましょう。

活動を共にしながら、そこから生まれる感情を共有しあうことが大切です

再登校支援にかかわるキャンプ・学校・適応指導教室の情報共有と行動連携連絡カードの活用

学校では、短時間で適切なアセスメントをし、支援方針を立てていく必要がある。キャンプでは、子どもたちと活動を共にしながら、子どもたちの様子をみとり支援指導に役立てていった。次に示すものは、夏キャンプ、秋キャンプで活用したシートである。

- 1 学校や適応指導教室から得た情報を一覧表にし、それをもとに支援方針をたてキャンプに活用した。指導者は、子どもたちの活動を二者関係、三者関係などの関係性で見とったり、課題解決場面でのかかわり方は、どうであったか、夜のスタッフ会議で子どもたちの活動の様子を出し合い、アセスメントを行い、次の日の支援方針を修正しながら支援方針をたてていった。下図に示すのが夏キャンプで使用したシートである。

夏キャンプ参加児童生徒資料

	A 男	B 男	C 子
支援・指導を行う際の留意点や配慮事項			
健康			
育てたい力 (学校復帰を図る上で必要なこと)			
支援方針 短期目標			
1 日目			
2 日目			
3 日目			
4 日目			

指導者見取りのポイント：課題解決場面でのかかわり、二者関係、三者関係など

2 秋キャンプでは、夏キャンプ後の適応指導教室、子どもの面接、保護者への面接をもとに、支援シートを作成していった。ひとり1ページのシートとし、面接から得られた子どもの願いや保護者の願いを基礎情報として記入できるようにし、支援指導方針をたてた。さらにスタッフ会議をもとに翌日の支援目標を記入できるようにした。

秋キャンプ参加児童生徒資料

名前

支援・指導を行う際の留意点や配慮事項

子面接から	親面接から
-------	-------



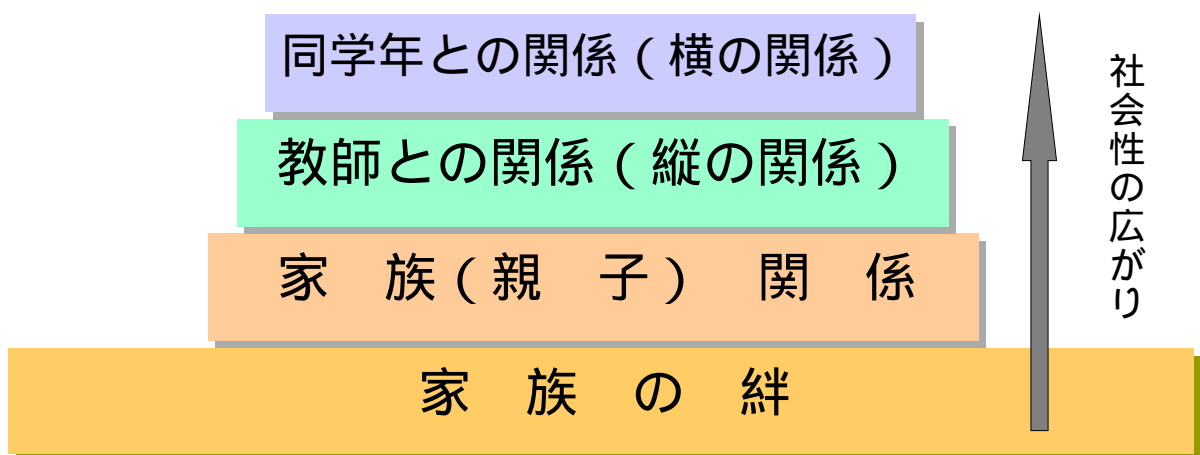
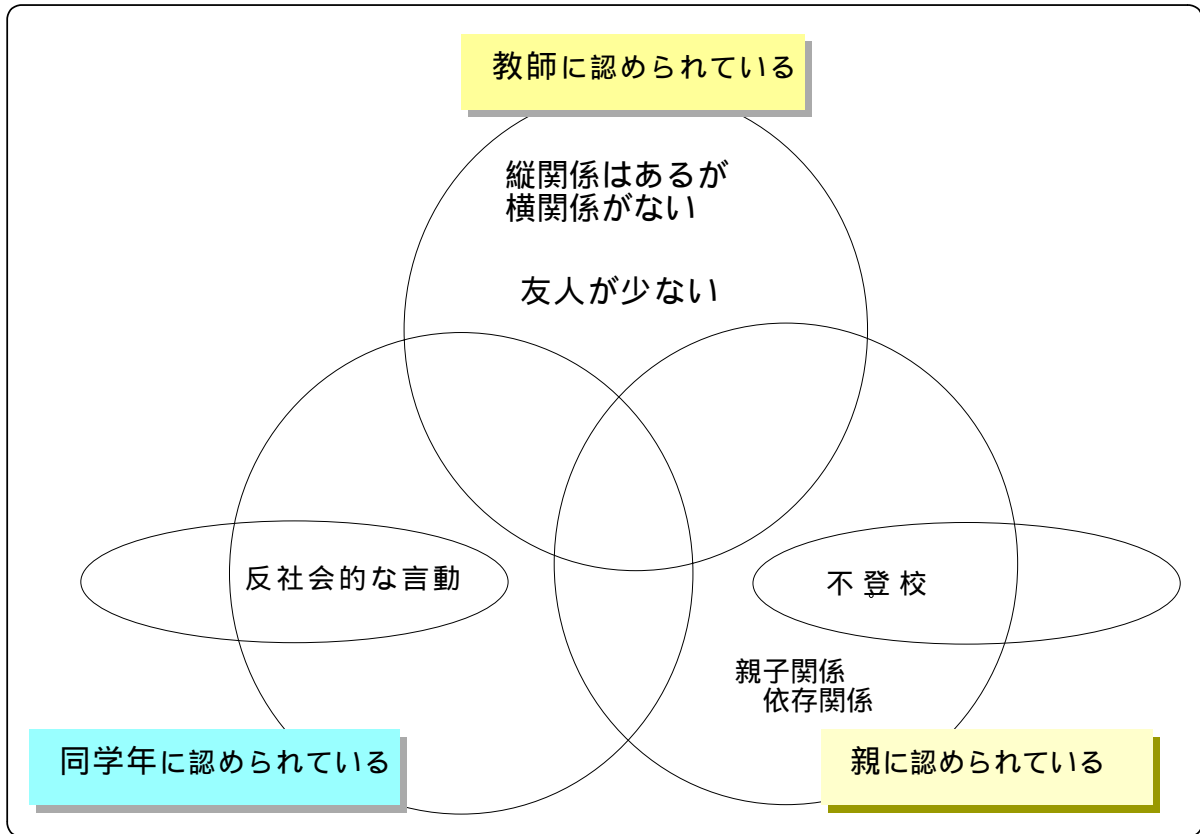
スタッフの支援・指導

方針

	キャンプ活動からの見取り（行動、心理、会話など）	支援目標 (翌日に生かしたいこと)
5 (火)		
6 (水)		
7 (木)		
8 (金)		/

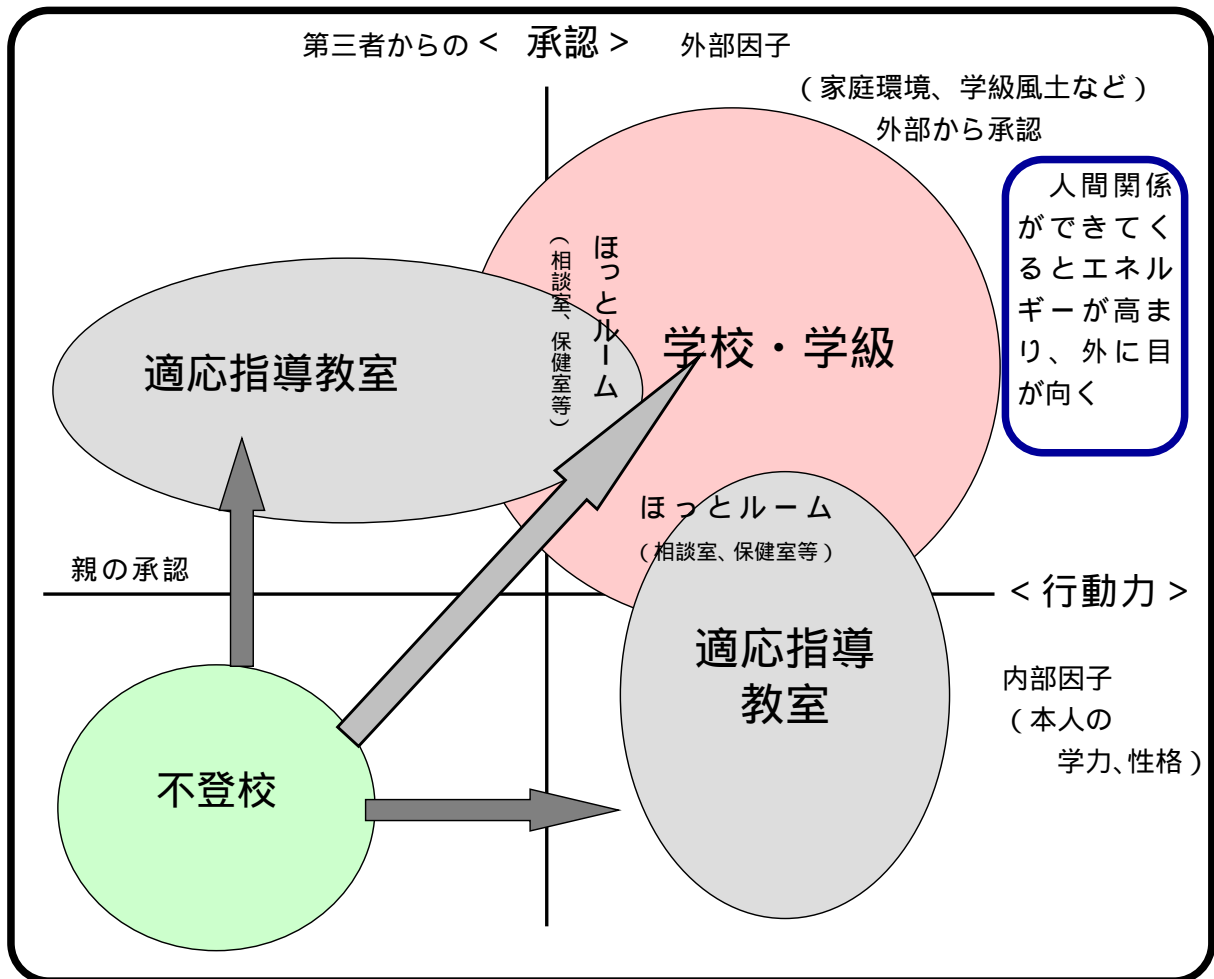
承認欲求

不登校児合同体験学習に参加した子どもたちを、教師・親・同学年の誰から承認されているかという観点で見取り、それぞれの子どもたちの現在の状況をあらわしてみた。その資料をもとに作成したものが下図である。



不登校の子どもは、親や教師に認められているが、同学年の子どもに認められておらず、同学年の同士のかかわりが苦手な子が多いことがわかった。家族の絆を基盤に家族の関係、教師との関係、同学年との関係を発達段階に応じて、作っていく必要がある。それが子どもの自立へとつながっていくと考える。

さらに、承認を縦軸、行動力を横軸にとっていくと下図のようになると考えられる。
 不登校の子は、親や第三者に承認されながら、自尊感情が高まり行動力が伴ってくることで、登校へのエネルギーが高まると考えられる。



外部因子

- ・先生が認める。周りが認める
- ・家庭環境
- * 親から認められないとき、家庭内暴力に発展することがある

内部因子

- ・本人の学力、性格、自己表現力、社会性、規範意識、自尊感情、等

外部因子を縦軸に、その子のもっている内部因子を横軸にとることによって、その子がいまどのような状態であるかを理解できるものと考えられる。そのことによって、支援指導の仕方、指導方針がより明確になると考えられる。